

学報



島根県立大学

第29号

魅力ある大学づくりと自主・自律の重要性

— 設立準備委員会の発足に寄せて

学 長 宇野重昭

昨年末から今年始めにかけて、大学には大きな変化があった。

私自身のことから始めて恐縮であるが、私は、前回の学報（28号）で紹介されたように、平成18年4月から2年間、第3期の学長の職務に就くことが予定されていた。17年11月2日の選挙で私を選出して下さった教職員の方々の信頼には、是非おこたえしていきたい。

つづいて18年1月12日、島根県知事は、県立3大学の統合・法人化後の公立大学法人島根県立大学の初代理事長兼学長に、私（宇野）を予定していることを公開した。その具体的内容は、本29号に金築孝事務局長が解説している通りである。したがって私は、19年3月、第3期の学長職の途中で任務を終え、以後は新しい統合大学の責任者になる予定である。任期はこれから定款などによって定められる。

私個人のこととはさておき、では設立準備委員会とはどのようなものであるかということを考えてみたい。

ここには新しい大学の実質的内容審議の権限が委ねられる。もちろん定款の認可、法人評価委員会の設置、教職員の任免、運営費交付金の制度設計などの重要業務は、引き続き設置者（担当は県庁総務部）によって推進される。他方、大学の実質的運営の組織、教育・研究そして地域連携の推進、さらには最近浮上してきた短期大学の4年制課程の移行の可否の討議も、この委員会の審議に委ねられる。

その意味で、今後、従来の大学改革の基本計画策定に至るまでの運営と、推進方法が大きく異なることが予測される。もちろん従来設置者側が中心となって作成してきた「改革基本計画」が、諸改革の前提的原則となることは確認しておきたい。

この設立準備委員会には、教職員の代表が多数参画する。また、この委員会の下に置かれる数々のワーキンググループにも教職員が参加する。そしてその討議の過程ないし結果は、直接に準備委員長、さらに準備委員会に伝えられ

(次頁へつづく)

目次

魅力ある大学づくりと自主・自律の重要性	学 長 宇野 重昭	1
法人設立準備委員会の発足—大学改革への新たな第一歩	事務局長 金築 孝	3
第2回島根県立大学・蔚山大学校共同研究会の開催		
	北東アジア地域研究センター長 別枝 行夫	4
「国際文化交流の夕べ」開催		5
次期学部長予定者の決定について		5
規則・会議・学内行事など		5

る。その意味で、「魅力ある大学づくり」の主導権は設立準備委員会に委ねられたといってもよいであろう。われわれはこれから大学間競争を生き抜く大学の自主的、自律的運営の推進を期待されているのである。

ところで、大学の自主的、自律的運営ということは、あたりまえの表現であるようで、実は非常に重い表現である。それは従来の大学教職員の意識の変革を要請するものでもある。われわれは、われわれ自身で時代の状況を的確に判断していかなければならない。また社会と地域の要請にこたえて、合理的な規模と内容の高等教育機関の構築を視野に入れていかなければならない。そして県立大学が公費によって運営されている事実をしっかりと認識し、その自主財源の比率を高めていかなければならない。そのための合理化、効率化はわれわれ自身のためのものでもあり、われわれ自身の手によって進めていくことが当然のこととなる。

さらに自主的、自律的行動は、大学の経営・運営面のみならず、それ以上に、個性的な魅力ある大学づくりの面に向けられていかなければならない。

大学の魅力とは、まず第1に学生（とくに受験生）にとっての魅力である。そのためには不断のカリキュラムの内容の革新、授業内容の向上が求められる。FDの具体化による学生の積極性のカリキュラムや授業にたいする反映も注目されよう。また、就職率の高いことや、そのための指導体制が整っていることも魅力の一つである。第2に教職員にとって魅力ある職場であることが重要である。そのためには特に若い教職員に豊かな研究向上の機会が与えられることが肝要である。第3に、そして公立大学にとっては基本的なことであるが、地域にとって大学が魅力ある存在であることが重要である。この点、本学は従来かなり努力してきた。しかし今後はいっそう大学間の地域貢献競争が激化するであろう。

これらの魅力ある大学づくりは、決して上からのかけ声で実現するものではない。結局その可能性は、教職員そして学生自身の努力にまつもので

ある。そしてその基礎は自主、自律の精神である。もっともそのためには教職員にとっても十分な情報が必要であろう。このことを考慮して、設立準備委員会では、可能な限り討議内容を公開していきたい。その方法は具体的に明示されていく予定である。

こうして共々に魅力ある大学を自主、自律の精神によって構築し、大学の活性化と効率化、合理化を進めていきたい。

法人設立準備委員会の発足 —大学改革への新たな第一歩

事務局長 金築 孝

先日の知事定例記者会見で、公立大学法人島根県立大学設立準備委員会の設置が発表された。

委員長である理事長（＝学長）予定者は本学宇野学長、そのほかの委員は県立3大学・短大の教員代表（本学は今岡学部長）、有識者として宇津浜田市長、吉川前島根大学長、中村県教育委員長、西澤島根銀行会長、そして設置者側代表として島根県濱田総務部長、以上9人である。このほか、本学増田副学長および2短大学長が顧問となっている。

設置期間は、平成18年1月から平成19年3月、すなわち統合・法人化後の新大学が発足する直前までとなっているが、これは、単に新たな組織が生まれた、というような性格のものではない。大学改革の新たなスタートが切られたという理解が正しいように思う。

この準備委員会については、昨年12月26日開催された第5回3大学連絡会議（3大学・短大の教員代表および事務局長から構成される）で説明があった。準備委員会の審議事項は、新大学の組織・運営、人事労務制度、中期目標・中期計画・評価および教育研究・定款・諸規定、短期大学の4年制課程移行、等々に関することとなっている。また、この委員会の下に4つのワーキンググループを設置することも提案された。

検討の進め方も提案された。ここが一番のポイントであろう。

これからの大学改革の検討の中心は準備委員会となり、また準備委員会の進め方等については、すべて理事長（＝学長）予定者との協議の上に行われるということである。当たり前のことのように見えるかもしれないが、実はこれはきわめて大きな方針転換であると考えている。

振り返ってみよう。

県立3大学・短大の統合・法人化の方針が明らかにされたのは平成16年秋、それから学長会議、3大学連絡会議を中心として、統合・法人化後の新大学の在り方を議論し、平成17年春に大学改革基本計画骨子が策定された。そして平成17年度に

は大学改革諮問会議が設けられ、同年8月に報告書が提出された。

この諮問会議報告書を踏まえ、大学改革基本計画がまとめられ、その後3大学連絡会議が大学を代表する形となって大学改革に向けての議論が進められた。この議論の進め方は、会議の場で県庁大学改革室の考えが示され、それを各大学・短大はそれぞれ持ち帰り、大学等の考えをとりまとめ、回答し、それを改革室で整理し、あるべき姿をつくっていくというものであった。

これは一見自然なやり方のように見える。しかし、本学としては若干不満のある進め方であった。というのは、いささか議論が制度論に偏っているように思えたこと、また、統合・法人化が行財政改革の一環ということが強く意識されすぎ、今回の大学改革が「魅力ある大学づくり」をも目的とするということが、いや、むしろ大学側からすればそれこそ第一の目的であるべきものであったのであるが、それが忘れ去られてしまいがちに思えたからである。

大学には教員も学生も事務局職員も、さらにはいろいろな立場から大学を支えてくださっている多くの人がいて、現に大学を中心とした活動をしている。そのみんなの思いをくみ取っていかなければ、生き生きとした活力ある大学はできない。事務的に進められるだけでもものではないという気持ちもあった。

このため、本学としては改革室から提案される種々の課題への対応を行いながら、一方で「行財政改革は理解するものの、魅力ある大学づくりということのを忘れてはならない。そのためにも、早く理事長予定者を中心とする準備委員会を舞台として血の通った議論をすべきである」ことを訴えてきた。それが、今回実現しようとしている。今月開催される第1回の設立準備委員会は、基本計画やこれまでの議論を踏まえながらも、いわば新規まき直しということでスタートすることになると思っている。

宇野理事長予定者のリードのもとに、効率性も追求しながら、いっそう魅力のある大学づくりが推進されるであろう。大学改革の、新たな第一歩が踏み出されるのである。

第2回島根県立大学・蔚山大学校 共同研究会の開催

北東アジア地域研究センター長
別枝 行夫

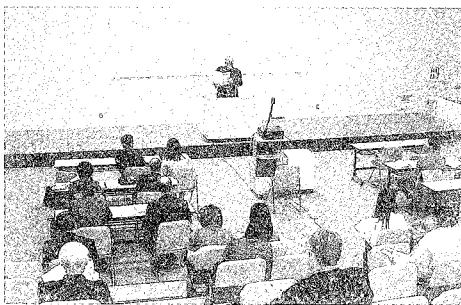
12月9、10日の両日、「語学教育の実践と教室内コミュニケーション」をテーマとした研究会を島根県立大学で開催しました。これは、本学が交流協定を結んでいる韓国・蔚山大学校と、今年の第1回に続く第2回の研究会を共同で開催したものです。

蔚山大学校からはキム・ゴンデ人文大学長をはじめ5人の専門家が来学されました。

経済・社会の様々な面でグローバル化が急速に進展し、英語や地域言語教育、社会的に適切な日本語の運用力を含むコミュニケーション能力の開発が求められている中、本学及び蔚山大学校の語学教育関係者・コミュニケーション研究者・心理学者が、教育現場の実情を踏まえ、指導上の工夫点や取り巻く課題等について、以下の報告を行いました。

◆『語学教育』

- ・島根県立大学における留学生に対する日本語教育について／犬塚優司助教授
- ・韓国人学生のための日本語教授法－日韓両国語の比較対照を中心に－／シン・ソンヒャン教授(蔚山)
- ・Toward Developing Strategic Reading in University English Education／シヨーン・ホワイト助教授
- ・A Socio-Cultural Taxonomy for Teaching, Learning and Speaking English in South Korea／ウォルフガング・ペルソ教授(蔚山)



- ・島根県立大学における中国語教育の現状と試み／陳仲奇教授

- ・韓国語教育における規範と実際／ユ・ピルジェ教授(蔚山)

◆『教室内コミュニケーション』

- ・外国語授業における本当のコミュニケーションを奨励する英字雑誌作りプロジェクト／江口真理子助教授

- ・Communication Problems in Foreign Language Classrooms／エリック・ダサス教授(蔚山)

- ・教室内コミュニケーション－臨床教育学的考察－／川中淳子助教授



- ・Enhanced Student Interaction Using Moodle／スティーブン・ヘネベリー講師

研究会は具体的にテーマを絞り込んだ内容であり、各報告を受けて、参加者は日韓それぞれの現状や課題について意見交換を行うとともに、効果的な語学教育システムのあり方とコミュニケーション能力の育成について、様々な角度から活発に議論を行いました。蔚山大学校は語学教育に定評のある大学で、島根県立大学の語学担当教員のみならずFD（ファカルティ・デベロップメント）に関わる教職員にとっても今後両大学の研究交流が深まることは大いに意義あることだと考えております。

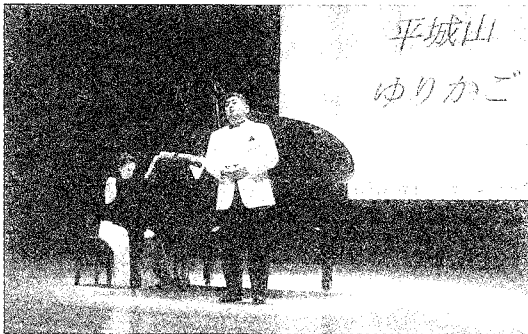
来年は本学から蔚山大学校に複数の教員が赴き、先方の語学教育の現場を視察し、さらに今回の研究会の継続開催を計ることが企画されています。

「国際文化交流の夕べ」開催

12月10日(土)、第6回「国際文化交流の夕べ」を開催し、第1部の白岩貢&長谷智子ジョイントリサイタルを県立大学講堂で開催しました。

今回、初めて国際交流へのカンパのため有料にしましたが、当日は300名を越える市民・学生の皆さんの参加がありました。

また、バリトンの白岩さん、ピアノの長谷さんのご厚意により来場したすべての人に楽しんでもらえるよう、演奏者自らが曲目を解説したり、アンコールの最後では島根県民の歌を会場の全員で大合唱したりと、心温まるリサイタルとなりました。



引き続き会場を学生会館に移し、学生達が企画・運営を行って第2部を開催しました。大学院北東アジア研究科1年の李曉静さんが中国でのクリスマスの過ごし方を発表し、韓国人と日本人のサークルは日本語と韓国語を交えた合唱を、中国人留学生のサークルが太極拳を披露したりと「国際文化交流の夕べ」の名にふさわしい内容となりました。



当日は浜田高校・江の川高校の生徒さんも参加をされており、各サークルの発表を見て大学の雰囲気を楽しんでいました。

定員180人の会場は、市民・学生の皆さんの参加で満席となり大盛況の開催となりました。

実行委員会幹事長の山本幸子さん(2年生)は「今回国際文化交流の夕べを実行委員として運営できた事は、私にとっても大きな自信となり、また一つの物事を作り上げるには多くの助けと支え合いが重要なのだと改めて実感しました。当日に至るまで、留学生のみなさんと念入りに打ち合わせをし、参加しただけでは味わうことのできない実行委員ならではの充実感を得ることができました。

今年も多くの市民の皆さんや、諸外国の方々など、たくさんの方々に参加していただきました。これからも、この浜田でのより重要な交流イベントとして、さらに多くの人たちに参加をしていただきたいと思います。」とコメントしています。

次期学部長予定者の決定について

本学の今岡日出紀・総合政策学部長の現在の任期は平成18年3月31日をもって満了することから、学内規程に基づき次期学部長予定者の選挙を平成17年12月21日に教授会において執行したところ、大橋敏博教授が当選者となり、学内手続きを経て次期学部長予定者として決定したのでお知らせします。

なお、次期学部長への公式な就任は島根県知事からの発令によることとなります。

規則・会議・学内行事など

会議の開催状況

- 評議会 議決事項
 - ・ 第32回 11月30日
 - 1 学生の休学に関する件
 - 2 拡大入試制度検討委員会報告(案)に関する件
 - 3 教育ネットワーク中国の単位互換事業への参加に関する件
 - 4 平成18年度新設科目(国連大学グローバル・セミナー)に関する件
 - ・ 第33回 12月21日(※学部長選考に係る選挙結果の報告事項のみ)
 - ・ 第34回 1月10日
 - 1 評議会人事委員会の構成に関する件

- 2 学生の退学に関する件
- 3 学生の休学に関する件
- 4 異常気象等による緊急時における授業等の取扱要領の改正に関する件

□ 教授会 議決事項

・第79回 12月7日

- 1 平成18年度推薦入学、自己推薦者選抜の合格者の選考に関する件
- 2 平成18年度再入学試験の合格者の選考に関する件

・第80回 12月21日

- 1 学部長選挙の結果の確認に関する件
- 2 専任教員採用及び昇任人事に係る学部人事委員会の構成に関する件
- 3 学生の退学に関する件
- 4 学生の休学に関する件
- 5 平成18年度「学年暦」に関する件
- 6 平成17年度卒業証書授与式に関する件

□ 北東アジア研究科委員会 議決事項

・第36回 12月14日

- 1 国外特別選抜試験の実施に関する件
- 2 入試問題の作問委員の選任に関する件
- 3 平成17年度博士論文審査の実施方法に関する件
- 4 平成17年度博士論文審査における公開審査会の実施方法に関する件
- 5 平成18年度以降における学位（博士）授与に係る規程の整備に関する件

□ 開発研究科委員会 議決事項

・第37回 12月14日

- 1 国外特別選抜試験の実施に関する件
- 2 入試問題の作問委員の選出に関する件
- 3 学生の休学に関する件

□ 運営委員会（E会議）審議項目

・第248回 11月22日

- 1 学生の退学について
- 2 学生の休学について

・第249回 11月29日

- 1 平成18年度学年暦について
- 2 平成17年度卒業証書授与式・学位記授与式について

- 3 評議会の議題について

・第250回 12月6日

- 1 平成18年度推薦入学、自己推薦者選抜試験の合格者の選考について

- 2 平成18年度再入学試験の合格者の選考について

・第251回 12月13日

- 1 卒業証書・学位記授与式の日程（案）について
- 2 学生の休学について

・第252回 12月20日

- 1 2007年度大学案内の制作について
- 2 総合政策学部のカリキュラムの見直しについて
- 3 評議会の議題について

□ 研究科連絡調整会議（G会議）審議項目

・第36回 12月13日

- 1 飛び級制度における出願資格について
- 2 国外特別選抜試験の実施について
- 3 平成17年度博士論文審査の実施方法について
- 4 平成17年度博士論文審査における公開審査会の実施方法について
- 5 平成18年度以降における学位（博士）授与に係る規程の整備について
- 6 学生の休学について
- 7 学位授与式の日程について

□ 学内諸会議

○ 外部資金対策委員会

・12月14日

○ メディアセンター委員会

・12月8日

○ P R・情報発信委員会

・12月7日

○ 留学生委員会

・11月17日

○ 就職委員会

・11月17日・12月8日

○ 教務委員会

・12月8日

○ 入試委員会

・12月3日

○ 教職課程委員会

・11月29日

○ 学生生活委員会

・11月17日・12月16日

○ 研究活動・総合政策学会委員会

・12月14日

○ 公開講座委員会

・11月16日・12月21日

- ファカルティ・デベロップメント委員会
・12月20日
- 地域連携推進委員会
・11月17日・12月14日

人 事

□臨時職員

更新 (平成18年1月1日付 [平成18年3月31日
日まで])
河野 和美 (共同研究室)

主な学内行事

- 11月2日 学長選挙
3年生就職活動決起大会
キャリア形成講座
パソコン講座
- 3日 県立大学後援会理事会
保護者進路懇談会
しまね建設技術展パネル展示(～4日)
- 5日 21世紀地球講座 (小林教授)
教養講座③
TOEIC集中講座
- 6日 編入学試験
教養講座④
- 7日 就活バス (合同企業説明会in大阪)
- 8日 NEARカレッジ浜田 (李助教授)
- 9日 キャリア形成講座
北東アジア学研究懇談会 (山田公平・
名古屋大学名誉教授)
アカデミックサロン
パソコン講座
NEARカレッジ松江 (李助教授)
- 12日 TOEIC集中講座
教養講座⑤
21世紀地球講座 (大前助教授)
- 13日 教養講座⑥
- 15日 学校見学会 (益田産業高校)
北東アジア学研究懇談会 (天児 慧・
早稲田大学大学院教授)
NEARカレッジ浜田 (天児 慧・早
稲田大学大学院教授)
- 16日 キャリア形成講座
TOEIC学内試験
NEARカレッジ松江 (天児 慧・早
稲田大学大学院教授)
日本学生支援機構奨学金返還誓約書説

- 明会
- 18日 FD学内セミナー
- 19日 西周シンポジウム (津和野町)
教養講座⑦
21世紀地球講座 (堀内教授)
- 20日 教養講座⑧
ハングル能力検定試験
- 23日 公務員模擬試験 [総合型]
- 24日 日本学生支援機構奨学金返還誓約書説
明会
- 25日 キャンパス・ハラスメント防止啓発研
修
- 26日 21世紀地球講座 (村井教授)
教養講座⑨
SPI短期集中講座
- 27日 中国語検定試験
教養講座⑩
SPI短期集中講座
- 30日 北東アジア学研究懇談会 (加藤 節・
成蹊大学法学部教授)
キャリア形成講座
パソコン講座
「性に関するセミナー」
学生寮等居室等点検
- 12月1日 就活バス (合同企業説明会in大阪)、国
際交流会館 (一部) 居室等点検、県内
高校向け入試制度説明会 (出雲会場)
- 2日 学生寮消防訓練
- 3日 推薦入学、特別選抜及び再入学試験
21世紀地球講座 (張助教授)
- 4日 自己推薦者特別選抜試験
- 5日 参与会、県内高校向け入試制度説明会
(浜田会場)
- 6日 県内高校向け入試制度説明会(松江会場)
- 7日 特別講演会&学内企業説明会、パソコ
ン講座、キャンパス・ハラスメント防
止啓発研修
- 9日 国際交流会館消防訓練、石嘴山市訪日
団表敬訪問、島根県立大学・蔚山大学
校共同シンポジウム (～10日)
- 10日 第6回国際文化交流の夕べ、21世紀地
球講座 (井上厚史教授)
- 13日 寧夏大学代表団来学、浜田高校生への
セミナー開放、H18基礎演習選択オリ
エンテーション
- 14日 就活バス (合同企業説明会in大阪)

- 学生寮居室点検、H18総合化演習選択
オリエンテーション、パソコン講座
- 15日 学生生活向上会議
- 16日 国際交流会館居室点検
- 17日 21世紀地球講座(井上定彦教授)
- 19日 浜田高校生へのセミナー開放
- 20日 浜田高校生へのセミナー開放
- 21日 キャリア形成講座、学部長選挙、新しい学生支援制度についての説明会、AO入試等寮見学会、パソコン講座
- 22日 AO入試等寮見学会
- 27日 学生寮、国際交流会館閉寮点検
- 28日 仕事納め式

主な来学者

- 11月 3日 三浦浩二(島根県立大学後援会副会長)
ほか
東條文千代(NPO法人日本人材教育協会理事長)
- 9日 山田公平(名古屋大学名誉教授)
- 15日 天児 慧(早稲田大学大学院教授)
- 18日 大塚雄作(京都大学高等教育研究開発推進センター教授)
- 30日 加藤 節(成蹊大学法学部教授)、西崎文子(同法学部教授)
- 12月 5日 大矢幸雄参与(浜田高等学校長)、下森華子参与(島根県立男女共同参画センター館長)、中嶋嶺雄参与(国際教養大学長)、藤本黎時参与(広島市立大学長)、丸 馨根参与(鞍山陰合同銀行会長)、脇田晴子参与(滋賀県立大学名誉教授)
- 8日 加藤 誠(自衛隊島根地方連絡部長)、飯田隆保(自衛隊島根地方連絡部西部地区隊長兼浜田出張所長)
- 9日 楊 春光(中国共産党石嘴山市委員会書記・石嘴山市人大常務委員会主任)
ほか(石嘴山市訪日団)
金 功大(蔚山大学校人文学長)、シン・ソンヒャン(同日本語学科教授)、Wolfgang Pelzer(同英文学科教授)、ユ・ピルジュ(同国文学科教授)、Eric Dassas(同仏文学科教授)
- 10日 白岩 貢(青森短期大学講師)、長谷智子
- 13日 李 星(寧夏大学副校長)、冀 斌(同人事処処長)、潘 自強(同基建処処

長)、唐 金成(同離退休人員服務処処長)、高 桂英(同西部発展研究中心主任)、宋乃平(同西部生態与生物資源開発聯合研究中心主任)、趙 勤(同对外合作交流処副処長)、張 前進(同西部発展研究中心副主任)、張 季周(通訳)

今後の主な行事

- 1月 4日 仕事始め
- 10日 教職員新年互礼会
- 11日 特別講演会&学内企業説明会
パソコン講座
- 17日 H18基礎演習クラス編成会議
- 18日 H18総合化演習クラス編成会議
キャリア形成講座、新しい学生支援制度についての説明会、パソコン講座
- 19日 模擬面接
中国復旦大学・島根県立大学合同シンポジウム(～20日)
- 20日 模擬面接
- 21日 大学入試センター試験(～22日)
- 25日 卒業予定者説明会、アカデミックサロン
- 27日 学生生活向上会議
第5回大学将来問題懇談会
- 29日 公務員模擬試験(地方上級)
- 2月 1日 優秀卒業研究発表会、卒業予定者説明会、キャリア形成講座
- 3日 北東アジア研究科博士後期課程学位論文公開審査会
- 6日 NEAR財団経営委員会
- 9日 NEAR財団理事会
- 16日 国連大学グローバル・セミナープログラム委員会
- 25日 一般選抜前期日程試験

学報 第29号

2006年 1月25日発行

【編集発行】

島根県立大学PR・情報発信委員会
島根県浜田市野原町2433-2
Tel0855-24-2204 Fax0855-24-2210
E-mail:prjoho@admin.u-shimane.ac.jp
ホームページ:http://www.u-shimane.ac.jp/